

常任委員会報告

総務常任委員会

日程：平成 18 年 5 月 17 日～ 18 日
視察先：福島県会津若松市
＝地域特性を生かしたまちづくり



伝統・歴史を生かした 景観づくり！

会津若松市の七日町通りでは、任意団体「七日町通りまちなみ協議会」が、商店街の活性化と地域コミュニティの再構築を理念に掲げ、昔ながらの建物の保存と修景を行っています。現在までに約 40 軒の店舗や民家が改装し、大正浪漫風の町並み景観をつくり出しています。こうした活動が功を奏し、散策する観光客も増え、住民も愛着を深める結果につながっています。

桜川市においても、真壁地区のひなまつりや岩瀬地区の桜を生かしたまちづくりが始まり、これらをうまく組み合わせることにより、大きな活力を生み出すことが可能と考えます。

一般家庭の 生ごみも資源化！

小川町では、農家が10年前から家畜ふん尿や生ごみ類などの有機物を利用した簡易バイオガスプラントを設置し、そこで生成された液体肥料とメタンガスを有効に活用しています。平成13年度からは、住民の発案で、一般家庭の生ごみも回収し資源化の取り組みを始めました。

この取り組みは、生ごみの適切な分別や運搬方法の確立、プラント設置場所等の課題はありますが、桜川市においても取り組める可能性があり、一般家庭からの廃棄物減量化への手段として検討していくことも必要と思われます。

福祉環境常任委員会

日程：平成 18 年 4 月 12 日～ 13 日
視察先：埼玉県小川町
＝家庭生ごみの資源化事業



経済常任委員会

担い手を意識した ほ場整備！

日程：平成18年5月25日～26日
視察先：新潟県新潟市（旧新津市）
＝満日地区県営ほ場整備事業



満日地区は昭和12年から24年にかけて耕地が整備されましたが、区画が小さく、農道は狭く、用排水路も老朽化し、大型機械も入れない状態でした。平成13年度から担い手育成基盤整備事業で151haを区画整理し、耕地の汎用化を図り、労働生産性の向上を目指しています。この事業は、大区画高生産性ほ場50aを標準として整備しており、固定畦畔ではなく移動畦畔を採用して農地の流動化を促進、また、農道は幹線幅員7m、支線幅員5mで整備されています。

桜川市も土地改良事業を行うに当たり、担い手を意識した生産性の向上を図ることが求められています。

土木常任委員会

日程：平成18年5月18日～19日
視察先：長野県東御市
＝インター東部流通団地

インターチェンジ開通で 活性化！

東御市は、平成8年、上信越自動車道東部湯の丸インターチェンジの開通に伴い、地域産業の振興と企業立地を図るため、流通団地（総事業費50億円、全体面積は約8.7ha、10区画）を造成しました。上信越自動車道を境として、南側には商業施設、北側には物流関係の企業が誘致されています。

物流特区の指定を受けている桜川市も、平成20年度中に北関東自動車道が開通予定であり、経済の活性化、雇用対策、税の確保等において、（仮）岩瀬インターチェンジ周辺の開発整備が望まれます。



文教常任委員会

木のぬくもりが伝わる学校！

日程：平成18年5月25日～26日
視察先：新潟県五泉市
＝橋田小学校の木造校舎



橋田小学校は平成11年4月、旧丸田小学校と旧橋田小学校が統合し新設された学校です。校舎は木造2階建ての準耐火構造、建設費用は約9億円です。

木材を利用した落ち着きとやわらかみのある快適な学習環境と、地域と連携した防災コミュニティの拠点として活用できる近代的な学校です。

桜川市の校舎建設に当たっては、木のぬくもりが優しく伝わるような学校を要望します。